

【報道関係各位】

三谷産業株式会社  
2020年2月17日

**三谷産業、AI 技術ベンチャーNextremer に出資し、  
AI を用いたビジネスアプリケーション開発に参入  
～企業ニーズと先進 AI 技術のマッチングに向けた協業を開始～**

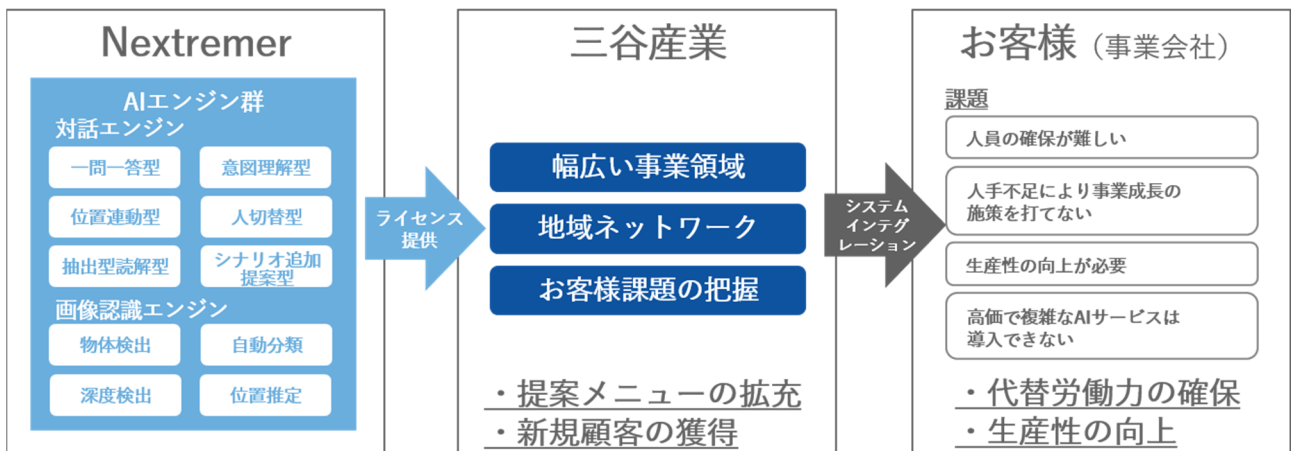
三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、AI の研究開発成果の社会実装事業を手掛ける株式会社 Nextremer（ネクストリーマー、本社：東京都板橋区／代表取締役社長 CEO：高橋太一、以下 Nextremer）に対して、このたび出資を行いました。AI の普及・社会実装が加速度的に進むことが見込まれる中、北陸地区の企業におけるさまざまな課題に対して Nextremer の AI 技術を活かしたソリューションを創出すべく、協業を図っていきます。

なお、今回の出資は、Nextremer のシリーズ B 投資ラウンドにおける第三者割当増資により行ったもので、事業会社による Nextremer への出資は三谷産業が初めてとなります。

### ■Nextremer の事業特徴

Nextremer では、創業当初より機械学習を中心とした AI 技術の社会実装を目指し、研究開発・製品化を行ってきました。近年、少子高齢化や労働人口減少の急速な進行により、AI を活用したサービスへの関心・認知は高まる一方で、そうした問題が大都市に比べて先行して進む地方都市では、なかなか活用が進まないのが現状です。その要因には、地方の中小規模の企業にとって、AI 実装のハードルが高いことが挙げられます。

Nextremer の AI ソリューションの特徴は、中小規模の企業でも取り組みやすい価格帯でスピーディーに提供できることです。三谷産業などのパートナー企業と連携し、地域の課題解決に向けた AI ソリューションの活用促進、地方の企業、地域全体の活性化を図っていきます。



事業連携イメージ

## ■今回の出資背景

AI システムの市場規模は年平均 46.4%の成長率で拡大<sup>\*1</sup>しており、今後加速度的に社会に普及することが見込まれています。

しかしながら、多くの一般企業においては、AI 技術への関心はあっても自社での活用方法が分からないという現状があり、また AI 技術を持つスタートアップ等においては、技術を活かせる課題の発見および実装が難しいという悩みを抱えており、ニーズとシーズのマッチングが重要な課題となっています。

そこで三谷産業は、50 年以上の歴史を持つ情報システム事業が中心となり、長年の間に培われてきたネットワークを活かして、まずは北陸地区におけるさまざまな業種・規模のお客様の課題を掘り起こし、Nextremer の AI 技術を活用したソリューションの創出に取り組みます。

なお、今回の出資に先立ち、2019 年 5 月より Nextremer は、三谷産業の金沢本社内に「金沢 AI ラボ」を開設し、1 名が常駐しているほか、三谷産業のベトナム子会社でオフショア開発を手掛ける AIT 社が Nextremer のソリューション開発への協力を開始しています。

<sup>\*1</sup> 出典：IDC Japan, 5/2019. <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ45069919>

今後、三谷産業は、Nextremer との具体的な協業に向けて連携を進め、北陸地区のお客様ならびに地域社会の課題解決のため、AI 技術を活用した新たなソリューションの創出を目指してまいります。

(補足情報)

【株式会社 Nextremer について】 <https://www.nextremer.com/>



東京、高知および金沢に拠点を置く AI の社会実装を推進するベンチャー企業です。AI をより社会に受け入れられやすい形で製品化することで、より多くの人々がテクノロジーの恩恵を受けられる世の中の実現を目指して、AI 社会実装事業(AI エンジンライセンス、AI プロダクト)、AI システム開発・研究開発を行っています。最近では“AI を地方にも、地方からも AI を”というメッセージを掲げ、AI を活用した地域課題の解決にも取り組んでいます。さらには量子コンピュータ等の先進技術におけるアルゴリズムの研究開発、他企業との共同研究なども推進しています。テクノロジーの社会実装を推進し、少子高齢化社会における代替労働力の維持向上を通じた、社会全体の生産性向上と持続可能な社会成長の実現を目指していきます。

【三谷産業グループについて】 <https://www.mitani.co.jp/>

三谷産業グループは、化学品、樹脂・エレクトロニクス、情報システム、空調設備工事、住宅設備機器、エネルギーの 6 つの事業を持つ複合商社です。1928 年に金沢で創業して以来、現在は、金沢と東京の二本社体制を持つ三谷産業株式会社を中心に、子会社 28 社（日本 18 社、海外 10 社）で事業展開しています。商社でありながらも、製造・物流などの機能をあわせ持ち、さらに技術部門とも連携した提案型営業を推進しています。また、時代に先駆けて自らを変化させるべく、スタートアップ企業との協業などを通じて最新技術の活用や新規ビジネスの創出を推進し、お客様にとっての最適を追求しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

三谷産業株式会社 コーポレート本部 経営企画部 TEL: 03-3514-6003